

埼玉県連ハイキング委員会主催地図読み講習会を終えて

埼玉県連ハイキング委員会では、2012年1月8日北浦和カルタスホールで「**貴方の地図読み 大丈夫ですか！**」というタイトルで地図読み机上講習会が開かれた。

講師には、登山時報「地図読み迷人」連載中の村越真静岡大教授にお願いし、参加者53人（16加盟団体他）の参加で盛況にて終える事ができた。

協力者（県連登山学校）による簡単な事前講習後、10時から地図読みの重要性、過去の道迷いの例などの話のあとプロジェクターでの講義を中心として進められた。

参加者は5～6名の班編成とし、1人は地図読みに詳しい人を交え、講師から向けられた質問に対して各班で考え、答えを見つけていくという方法で学習した。

内容としては

- ・類似する「道」等の記号と実際の写真について。
- ・尾根と谷との区別。
- ・写真の地点が地図上のどの地点にあたるか。

（これは写真では読み切れない尾根の重なりなど複雑で、なぜか？との意見が飛び交った）

- ・地図のルート上にどんな「道迷い」が隠されているかの・・・先読み。
- ・コンパスについて整置など初歩的な説明、などがあつた。

時間は10時～4時の5時間を予定したが、内容も解りやすく参加型講習会の為和気藹々として楽しく時間は短く感じられた。

事後のアンケートに於いてもほとんどが「良かった」の意見を頂くことができた。

ハイキング委員長 佐藤久子記



1.本日の講習について感想をお願いします

- ・高校の地学の授業以来、久しぶりに地図についてアカデミックな話をお伺いでき、大変楽しい時間を過ごせました。非常に参考と勉強になりました。
- ・とても詳しく、地図の見方が一步前進できたような気がしました。まずは磁北線の引き方からスタートします。コンパスの簡単な使い方が良かったです。
- ・地図は現地に行って何回も練習することが大事だと思います。
- ・初心者なので大変ためになりました。地図から山容や高低などを具体的に描いたりイメージする方法が少し理解できました。実際の山での地図とコンパスを使って方向を定めるのは経験がなく難しいと思います。
- ・今までにない勉強で理解が深まった。
- ・地図読み講習方法の参考になった。
- ・尾根と谷を理解するのにペーパーを利用して実際にわかる。
- ・初めての講習なのでまだ分からないが、コンパスの利用法が解った。地図の尾根・谷の意味が解った。
- ・面白かった! 地図の見方がもっと細かく、かつ、正確になるでしょう。
- ・非常に解り易く面白かった。退屈しなかった。尾根筋、谷筋がわかり地図読みが興味深くなった。
- ・地図と実際を対応させるのがとても難しい。でもこれがすぐできたら楽しいだろうな〜と思った。
- ・今日学んだ知識を実際の場面で使えるかわかりませんが、知識としては沢山学ぶ事ができました。
- ・初めて地図読みの勉強をしました。会でやる学習の時も適当に解ったような気がするだけで、コンパスを本当に使ったのは 回だけ(地図は良くみますが)。すごく良かった(労山の月刊誌だけでは良く解らなかったので)早速、山行の時は使ってみたい。
- ・大変勉強になりました。
- ・地図読みの講座をどのように行い、どのように受講するのが大変良くわかった。
- ・解り易い講習で大変参考になりました。いつも自己流で歩いていたので基本が良く理解できて参考になりました。次回山行で活用し練習します。
- ・読図を見直す良いチャンスでした。
- ・等高線について詳しく教えていただいて良かった。尾根と谷との注意点。
- ・いろいろなジャンルの講師のお話を聞いていますが村越先生の話し方はとても解りやすく感激しました。
- ・とても勉強になりました。
- ・とても勉強になりました。登山時報の地図読み迷人ではなかなか解らないのですが今日はとても良く解りました。ありがとうございました。
- ・良いと思います。何回もお願いします。
- ・解りやすく良かった。山の写真と地図との整合性はおもしろかった。
- ・とても有意義な講習で時間が短く感じました。
- ・内容の濃い充実した講習でした。ついて行けるか心配でしたが基礎的な事から教えていただき苦手意識を持っていましたが楽しく受講する事ができました。あと、実践あるのみ・・・!
- ・大変参考になりました。時間が不足でした。
- ・尾根と谷の見分け方が地図上で見つけられました。立体図で説明して貰ったのが初心者には大変解りやすく良かったです。コンパスの使い方も何とかわかるようになり有意義でした。ありがとうございました。
- ・難しかったが楽しかったです。地図読みは慣れる事かと感じました。
- ・楽しくて。今まで疑問だった事が少し理解できた。
- ・非常に役にたった。実際の写真と地図上での位置を確認するのは難しかった。
- ・理解していたつもりでいた事が不十分だった事に気付いた。リスクを考え対応する、何をすべきか考えたい。
- ・大変勉強になりました。私はいつも(仲間)の後をただついて行くだけの山行を、もう何年も・・・です。ここで深く反省をし今回申し込みをした次第です。だから少し解ってきた・・・という段階なので、是非もう一回受講したいと思っています。

- ・大変解りやすくご指導いただきありがとうございました。 山に入る前にはもう少し詳しくを読んで、頭の中でイメージしてから入るようにしたいと思いました。
- ・大変わかりやすくておもしろかった。
- ・大変勉強になりました。
- ・何回か地図読み講習を受けていますが写真と地図の同じ場所はどこかと云われると本日の講習の中でもまちがいがありました。 実際、今一解らない部分があります。
- ・大変勉強になりましたが一部こんがらがってしまいました。 又折り紙形式で立体的にしてもらい、等高線のイメージが具体的に感じた感じがあります。 難しい、奥が深くやはり努力ですね。
- ・著名な講師の講座で期待通り解りやすく有益であった。
- ・地図読みが・・・コンパスの使い方が・・・多少解りましたが、まだ十分には解りません。 これからは山行時に使用したいと思います。
- ・記号などの意識が変わりました。 地図読みは大変役に立ちました。 これから地形など意識して山を楽しみたいと思います。 教わる事が楽しかったです。
- ・事前講習は要らないのでは・・・

※初心者の方にはプロジェクター資料のみでは足りない補足の学習(資料も含め)と成った事と思います。

Ⅱ.以前道迷いがあった方でどのような時に！ その時どう対処しましたか。

- ・地図読み山行で目的の山頂で昼食後、下山路を間違い、違う尾根を下山した。
- ・栃木県鹿沼の岩山の縦走路で、いつの間にか登山道を外してしまい、30分位うろうろしたがコンパスを使い、本来の方向を確認し本道に戻った。
- ・もう一度地形図とコンパスを使って確かめた。
- ・前後の道の確認で歩き、正しい方向修正をした。
- ・道標目当てで歩いていて、先の道がなくなり困ったが、元まで戻って対処した。 地図はガイドマップしか持っていなかった。
- ・すべての知識を導引し、間違いの原因を考えた。
- ・良く知っているつもりのアプローチの林道。 間違いを確認しルートを変更した。
- ・同行者の助けにすぎりました。
- ・その時点で左右何人かが様子見に登山道を歩き、その後道はないかといろいろ話し合い、基点に戻り、コンパスで確認し、木にしるし等を発見するまで行動した。 まったくの初心者で反省。
- ・道を間違えたポイントまで引き返しました。 二手に分かれて声の届く範囲まで確認に入り先の見通しをたてました。
- ・地図、コンパスで対応。 確信のある場所まで戻った。
- ・山頂にて休憩後あまり確認しないで歩きだした。
- ・立ち止まってじっくり地図を見て、道程を振り返った。 そこで戻るか、踏み跡を探すなど行動。
- ・一般ルートが多いので今の所なし。
- ・地図読み山行で伊豆が岳の東尾根の途中で道を間違えた。 リーダーが先行して確かめたが、道路に下りられそうなのでそのまま下った。 正規ルートより少し離れた道路に出ることが出来た。
- ・地図読み山行中、下に道路が有る事が分っていたので少し右に寄りすぎていたがそのまま下山。
- ・伊豆が岳の地図読み山行で分岐間違いをした。 途中で間違いと分かったが進行方向に 車線道路が有るので下りていった。
- ・分らない初めての山で分岐まで戻った。 知っている山では間違いとわかってそのまま降りた。
- ・元に戻った。
- ・山頂で昼食後「思い込み」でまったく違う方向に下山しました。 途中コンパスで藪漕ぎをして正規の登山道に戻りました。
- ・時間がなく分岐を見落とした。 気が付いた時は遅すぎて引き返すことなく、遠い方に下山した。
- ・雪のあるガスの中の6月の笠ヶ岳。 時々頂上が見えた。 登山道が見える所が少しあり、地図をみたら尾根より少し下がった夏道とわかった。

- ・以前登った時と景色が変わっていた時。
- ・似たような地形に2本道らしきものがあった時。
- ・川苔から奥多摩に帰るとき道はずした。 だいぶ下ってから注意を受け元の道に戻った。
- ・グループ登山なので、お任せ登山でした。
- ・地図とコンパスと高度計を使用して難を逃れる。
- ・登山の本の地図で確認した。 本には登山道上に色の付いた線が引いてあるが、実際の道は区別がないので不安であった。 しっかり地図読みが出来るようになりたかった。
- ・猛吹雪の時、1人が地図とコンパスを使って小屋にたどり着いた事を思い出し、是非この地図読みを行ってほしい。
- ・分岐を間違えもとに戻る。
- ・尾根道を下っていて脇の分岐に気が付かなかった。 かなり下ってから気づき戻る。
- ・分岐めざして登っていたが、その分岐が分らず更に道なりに登って1時間ほどしたあたりでおかしいと気づき戻る。
- ・赤テープをたよりに歩いていたが、仕事道に迷い込み太い幹に赤テープが巻いてあるのを信じかなり下ってきたが、倒木や足跡などで気づき戻る。
- ・今年から登山を始めたので今後に活用させていただきます。
- ・以前まだ山を初めていない時、家族で筑波山のけもの道に迷い込んで1時間ほど歩いたが益々わからなくなった。 迷ったら下るのではなく上に・・をどこかで聞いていたので少し登ったらすぐ登山道があった。
- ・何度も登っているとこの言葉に安心し、初めての山でもあったので、下山道について行ったが地図を考えると下山なら樹林越しの陽が後ろから当たるはずなのに、ずっと右側なので抗議したがあっていると云われた。 1時間ほど下りやっぱり違うと云われた。 冬場で下山時刻を計算すると元の道に戻るとかなり暗くなる。 しかし仕事道に行くという意見に反対し、暗くなる前に携帯がつながる地点を見つけ宿に連絡したうえで、頂上まで戻り本来の道を降りた。 道は急なので細心の注意で降りた。 下山後最近も遭難があったと聞き、低山でも気を付けないといけないと心から思った。

* 道迷いでは殆どの方が元の道に戻り難を逃れています。

話に夢中になり、それぞれの頭の中に入っている地図のルートではなく、人の背中を追っての山行は怖いものがあります。 迷ったら落ち着いて、どうすべきかを話し合い対処したいですね。

でも皆が道と地図とをこまめに確認しながら山行出来る事が、迷わない最良の方法と思います。



Ⅲ.これから企画してほしい講習会など。

- ・山での常識、非常識。
- ・初心者なのでどんな事でも参考になるものであればありがたいです。
- ・安全面が大事なので救急法。 中高年に役立つ！
- ・山行計画の作り方、リーダーの心得。
- ・体の鍛え方、メンテナンスの方法やグッズ。
- ・パッキングについて。
- ・リーダー養成。
- ・再度、地図読み講習会。
- ・低山や里山でも良いので実際の地図読みをやってみたい。
- ・また地図読みを企画してほしいです。
- ・机上をやって、実技もあれば良いと思います。
- ・山の天気、雲について。
- ・地図読みは奥深くて再度やってほしいと思います。
- ・運動生理学。
- ・地図読みの実技。
- ・おしゃべりに夢中になり標識を見落としてしまった。
- ・救急法。
- ・今回の講習を役立てるため易しいオリエンテーリング。
- ・救急、対応など。
- ・今日の続きをもう少しレベルを上げて。
- ・困った時の対処、マニュアル(山での遭難 他)。
- ・道迷いの原因と対策。
- ・オリエンテーリングに参加。
- ・最近の登山用具の傾向と使い勝手について知りたい。
- ・登山学校には来られない人も多いので、時々その一つを選んで講習会をしてほしい。



Ⅳ.他

- ・サムコンパスは大変参考になりました。
- ・時間が不足で中途半端でした。
- ・何度も実施で学ぶ機会を持つことが唯一の上達法と思います。
- ・いろいろな企画をいつもありがとうございます。

質問！ 天候不良時の対策

- A 詳細が書かれていないのでその時々により違いますが、概ね行動しない。
その為には、ツェルトなどで身を守る事ができる状態にあるのか、また登山道がどの程度把握できているのか、携帯などで連絡ができるのか、食糧はあるのか、体調はどうかなどで違ってきます。

ありがとうございました。 期待通りの講習会となり大変勉強になりました。
学習は楽しい事、知るとい事は楽しい事、自身を顧みることが大切な事、意識を持って山を楽しむ気持ちをもち続けるにはどうすれば良いか、いろいろな事を考える講習会でした。